

## Column 02

### デザイン性の高い 仕事を受注できる 理由

鋼板の加工販売業として創業。発寒と石狩に工場を持ち、鋼材の切断・曲げ・プレス・溶接などの加工を施し、製品として送り出しています。

当社のものづくりの特徴は、「切断」「曲げ」「溶接」「組立」を一貫生産ラインで行い、設計図を忠実に具現化する技術力です。この技術力を評価いただき、高級家具メーカーの旗艦店に施工された複雑な曲線デザインの螺旋階段や、仕上げの美しさを求められる公共・民間構造物といった、デザイン性が高く、技術的な難易度が高い仕事も受注しています。作業状況の確認のために来社したデザイナーから「僕がイメージした形が正確に再現できています」との言葉をいただいたこともありました。

この技術力の根底には、2008年から8年間続けている“5S活動”があります。当社では、人材育成と社内強化



を目的として、全社員が週1時間の5S活動に取り組んでいます。グループ単位で改善提案の検討や報告会を実施していく中で、安全で快適な職場環境が実現したばかりでなく、活動以外の部分でも意見交換が活発に行われるようになりました。

例えば、先述の螺旋階段のように複雑な形状の製品を作る場合には、実物大のモックアップ(模型)を作り、実際に製造する上での課題を洗い出す工程があります。5S活動により社員同士のコミュニケーションが活発になったことで、積極的に知恵を出し合って課題解決方法を検討するようになり、他社にはできないものづくりにつながっています。

議論を尽くして効率的に課題を解決していく手法は、デザインマネジメントの考え方にも通じます。

01 鋼板を加工している様子  
02 5S活動の様子

## Company Profile

阿部鋼材株式会社



所在地：札幌市西区発寒10条11丁目2番14号  
TEL：011-662-1891  
代表者：代表取締役社長 阿部 大祐  
資本金：4,500万円  
設立：昭和26年(1951年)  
主要事業：鋼材の切断及び加工販売  
URL：http://www.abekouzai.jp/

東京ビジネスデザインアワード Web サイトには、他の受賞事例も掲載されています。

<https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>

## 株式会社ラ・ルース「ひきよせ」

「コトを売る」発想で付加価値が向上  
(株)ラ・ルースは、間伐材を寄木にして組み合わせ、そこから切り出すことで、通常の1/3の材料から製品を作り出す「木地挽き(きじひき)」という伝承技法により、木製のテーブルウェアを製造・販売しています。

デザイナーの山田佳一朗氏は、門外不出の技術だった「木地挽き」をあえて宣伝

材料とするリ・ブランディング計画を提案しました。立ち上げた新ブランド「ひきよせ」は、無駄の出ない製法と寄木の木目の美しさに注目が集まり、海外高級ブランド店でも取り扱われるようになりました。社内でのデザイン意識も向上し、現在では「ひきよせ」だけでなくラ・ルース自体のブランドについても山田氏にディレクションを依頼しています。

